

公益財団法人スポーツ安全協会より公募があった「地域スポーツ・文化活動振興モデル拠点事業」に九州共立大学が採択

九州共立大学スポーツ学部は、公益財団法人スポーツ安全協会より公募があった令和6年度 スポーツ活動等普及奨励助成事業「地域スポーツ・文化活動振興モデル拠点事業」に採択されました。

本事業は、大学が持つ専門知識や人財等を活用して、地域の様々な方々が、スポーツ活動や文化活動にいつでも誰でも気軽に参加（直接参加や観覧・鑑賞等の機会の提供等）しやすい環境づくりの創出を目指すものです。事業期間は、令和6年度から8年度までの3年間です。

本事業は、全国で6大学のみでの採択となっています。

【事業名】

九州共立大学による「自律性」と「安全性」を完備したアダプテッド・スポーツ・コミュニティの開発支援

学内の連携体制

鶴鳴記念館

アダプテッド・スポーツ教室・
運動会の会場となり、
子どもや高齢者、大学生の交流拠点



プログラム 運営

アダプテッド・スポーツ研究部

アダプテッド・スポーツ教室や
運動会の運営/指導スタッフを担当

安全対策

学生トレーナー部CARE

アダプテッド・スポーツ教室・
運動会参加者を対象に、
安全・健康管理業務を担当



地域連携推進センター

九州共立大学アダプテッド・
スポーツプログラム運営委員会の
事務局として機能

スポーツ・健康まちづくりLAB

(スポーツ学部 松崎淳研究室内)

本事業の立案及び、参加者を
対象とした効果測定
(見える化)と評価を担当



本事業の詳細については、下記のページをご覧ください。

○[スポーツ活動及び社会教育活動、文化活動の普及奨励（スポーツ安全協会 ホームページ）](#)